WEEKEND JOURNEY

新たにスポーツトローラーのジャンルを提案し続けるポーランドの「PARKER Poland(パーカー)」。

パイロットハウスボートカテゴリーのフラッグシップ「920 Explorer Max」を2020年1月ドイツ デュッセルドルフボートショーでデビューさせた。 いち早く国内へ導入されたその最新モデル。全長9.95m、全幅2.80m、注目すべきはそのフォルム。

ゆったりとしたキャビンの後部に広がる長尺なアフトコクピット。既存モデルの790 Explorerは全長7.85m、全幅2.80m。 そのキャビン後部を2.1m伸ばし、ハルのチューニングを含めたストレッチエボリューションモデルとして登場したのだ。

text: Kenji Yamazaki photo: Masakatsu Sato
special thanks: OKAZAKI YACHTS http://okazaki.yachts.co.jp



パーティーでもマリンアクティビティでもゆとりのスペースを誇る「920 Explorer MAX」 独自の TSI ツインステップインフュージョンハルが軽快でカーライクなフィーリングを生む

 ルージング仕様など、幅広くエンターテイメント対応が可能と合理的だ。 デザイナーはスロベニアの Konzept Gasper Peternelj。 790 Explorer や 760 Quest も手掛ける。

「PARKERR Poland (パーカー)」は1886年に創立された英国のAH

Parker&Sonsのグループだ。もともとはミリタリーや沿岸警備にも採用

されるインフレータブルボートの名門であり、その傘下としてPARKER Polandは1970年代初頭には活動を開始している。ポーランドは近年プレジャーボートの製造拠点として注目を集めている。バルト海沿いのグダニスクは古くから造船の盛んな工業都市。そのグ

ダニスクを中心にプレジャーボートのOEMを含め新興ブランドが続々

と誕生している。今やヨーロッパ基準となったポーランドブランドだが、

PARKER は1970年代からフィッシングボートや小型 プレジャーボートの世界に参入していた。現在のメインファクトリーはポーランド北東部オストラーダ、洗練されたスタイリングを生みだす環境が垣間見られるマズーリ湖水地帯の風光明媚な街にある。今では年間

1,000 艇以上を建造する能力を持ち、NIMBUS、WINDY も OEM 建造を

66 ————PerfectBOAT JUL 2021

している。PARKER Polandのラインナップはバウライダーからフライブリッジ艇までバリーションは豊か。PARKER 630 Bowrider、630 Sport、630 Daycruiser、660 Pilothouse、660 Open、660 Weekend、690 Sport、690 Daycruiser、690 Bowrider、750 Daycruiser、750 Cabincruiser、770 Weekend、800 Weekend、800 Pilothouse、800 Cruiser、Monaco Flybridge、Monaco 110、760 Quest、850 Voyager、790 Explorer、この920 Explorer MAX、そしてオープンスポーツの1000 GTというモデルレンジだ。全てアウトボード艇で21~33フィート迄に21モデルが用意される。今やアウトボード艇のメジャーブランドといえる。

東京夢の島マリーナのゲストバースで遭遇する。ショートノーズロングデッキというべきか、特徴的なフォルムが刺激的だ。センターキャビンにウォークアラウンドのデッキレイアウト。キャビン形状は逆スラントしたフロントウィンドウが北欧スタイルを主張する。スライドウィンドウを持つルーミーなサイドウィンドウ、アフトコクピットからのキャビンエントリーは3枚の全面プレキシ式スライドドア。ルーフトップにはサンルーフ

が用意され、キャビン内は極めて明るい。長く広大なアフトコクピットはゆとりの空間を演出している。余談だがインボード艇のかつて存在したSTOREBRO 34のワークボートを思い浮かべる。

深いガンネル、ブルワークトップの安心の高さでアフトコクピットは守られる。その広さは長さ250cm×幅220cm、約5.3㎡。ポートサイドにL字型ソファとテーブルがセットされる。デッキパーティーが楽しくなる。フロアには6か所にロッカーストレージがある。ソファの下もストレージが隠れる。コクピット後端の150L循環いけすタンクはドライストレージとしても生かすことができる。フェンダーロッカーを含め実に収納は多く、アイデア満載のなんとも頼もしい設えだ。スイミングステップ脇には清水シャワーがセットされ抜かりない。

アウトボードは最新のMERCURY Verado 300が1基、ハルと一体化 したブラケットに搭載される。オプションで350ps 搭載可能、また2基掛 けなら250ps×2となる。折り畳み式スイミングラダーが広いトランサム ステップに用意される。乗りこみはこのトランサムステップからイージー に。ポートサイドのトランサムステップのハッチにはアンカーストレージ





がある。北欧のアンカリングはバウとスターンアンカーで係留するスタイルが一般的だ。クリートもスターンアンカー対応の位置だ。ウォークアラウンドのバウデッキにはアンカーとウィンドラス、なんとオールステンレスのチェーンは30mを装備している。キャビンスターボード後端にスロットルとステアリング、バウスラスターのセカンドヘルムが用意される。これは離接岸時やフィッシング時に機能を発揮するだろう。

ボリューム溢れるキャビンは必要なものが揃う魅惑的な設えを見せる。パイロットハウスのルーフはスライドハッチのサンルーフ、後部には固定のルーフグラスと採光はたっぷり保証される。入ってすぐ右舷にWALLASの2バーナーコンロと冷蔵庫にシンクのコンパクトなギャレーがある。ポートサイドにはダイネッティ。テーブルと対面するシートが居





心地の良さを演出している。前側シートは背もたれを反転し後ろに倒す ことでナビシートになる。テーブルをはずしパッドを渡せばベッドへの 変身も可能だ。

パノラマビューのヘルムステーションは天井高 195cm。 ステアリング を中心に、その左に各種スイッチ類、バウスラスター、右手にスロット ルやトリムスイッチが効果的に配置されている。機能的なコンソールに はSIMRADのGPSプロッターを中心に、その右にはアナログのエンジ ン回転計、その上にトリム計、左にはスピードメーターと燃料計が配置 される。プロペラモチーフのPARKER ロゴが光るキャプテンシートはま るでスポーツカーのバケットシートを思わせるマニアックなもの。コン ソールの高さ、フロントスクリーン、クルマ感覚の着座がお勧めとなる。 センターピラーのないフロントスクリーンは逆スラントし、クリーンな視 界を約束している。FUSIONのオーディオセレクターもコンソール下に 潜んでいる。





|徴的なショートノーズロングデッキのフォルム。深いガンネル、アフトコクピットはブ レワークトップの安心の高さで守られる。ポートサイドにL字型ソファとテーブル、コク ピット後端には150Lの循環いけすタンク。キャビン後端にスロットルとステアリング、バ スラスターのセカンドヘルムが用意される。

モチーフのPARKER ロゴが光る。コンソール中央にはSIMRADのGPS ブロッター、その右にアナログのエンジン回転計、 その上にトリム計、左にはスピードメーターと燃料計が配置される。コンパクトなギャレーも機能的だ。

2段コンパニオンウェイを前方に降りてバウのキャビンゾーンに。広々 としたバウバース、錨泊のナイトゾーンとしてもドライストレージとして も使い勝手はよさそうだ。手前右舷に完全個室のヘッドトイレエリアが ある。マルチパーパスのキャビンクルーザーとしてオーバーナイトの海 遊びを含め、アンカリング、フィッシング、アウトドアギアとして幅広く生 かすことができる。

静かにエンジンは回っている。アシスト付きの軽いステアリング、ス ムーズなコントローラー、強力なバウスラスター、セカンドヘルムで離 岸。 デッドスロー 600rpm-3.6 ノット-燃料消費 2.5L/h、マリーナ内は

1,000rpm-4.2ノット-4.7L/h。マリーナの外、工事エリアを1,500rpm-5.4 ノット-7.3l/h、2,000rpm-8.0ノット-10.9L/h で抜ける。 キャビン内のメイ ンヘルムに移動しテスト海域へ向かう。ヘルムからはパノラマビューだ、 操船する喜びが沸いてくる。

2,500rpm-9.4 ノット-16.8L/h、3,000rpm-14.0 ノット-23.8L/h。低速か らの確実な直進性が頼もしい。ピッチングを起こさず安定した姿勢を



ポートサイドのダイネッティは、ナビシートにも、テーブルをはずしバッドを渡してベッドにも可変。前方ロアにバウバース、左舷ミジップにダブルバース、右舷に個室ヘッドと、家族でのオーバーナイトの海遊びにも幅広 く対応できる。



保っている。ソフトな波当たりに気付く。ほぼ直立ステムで全長9.95m の長い水線長の成せる技か。セールボートや作業船、漁船など船舶の 交通が多い。テスト海域まで、更に沖に出る。天気晴朗なれどチョッピー な波アリの東京港ゲートブリッジ沖。スロットルを入れていく。確実な駆 動がパワフルな加速を生み一気にプレーニングし豪快な走りを見せる。 3,500rpm-17.8ノット-32.6L/h、4,000rpm-21.5ノット-42.2L/h、本船の 引き波やはぐれ波に突っ込んでみる。何事もなくいなしていく。

4,500rpm-26.2 ノット-59.9L/h。 軽快な加速が続く。 直進時の安定感 はスラロームに入って更に磨かれる。グリップのやや太く軽いステアリ ングを切りこんでいく。クイックな反応を示し小気味よい傾斜角を伴い ながら回り込む。切り返しの姿勢もバンクの入りも爽快なトレース感を 伴う。切れ味のいいスポーツボートの味わいだ。軽快なステアリングの 感触を通して痛快なマニューバを感じさせる。レーシングボート並みの

2段のステップハル "TSI ツインステップインフュージョンハル" の効果 だろう。船底と水面の摩擦抵抗の減少を計り、スピードと燃費に貢献す る。またレーシングボートに必須のディープVハルも採用し、船尾セット バック構造で好バランスを保つ。さりげなく採用されているハードウェ アもスポーティ極まりないセットアップだ。

5,000rpm-30.8ノット-78.4L/h。 時々派手にスプレーを上げるがワ イパーの活躍はほんのわずか。最高速を試してみる。フルスロットル 5,450rpm-33.5 ノット-89.3L/h。トリムをセッティングしてみるが変わら ない。もうひと伸びと言いたいが充分な速度だ。オプションの350psを あるいは250ps×2基を、これを搭載すれば……。 EXPLORER MAX 冒険者たち、その名の通りアウトドアアドベンチャーのチャレンジに本 領発揮するだろう。パイロットハウスボートの枠を超えた楽しみどころ いっぱいのマルチパーパススポーツトローラーだ。 P.B.



PARKER 920 Explorer Max

重量 3.10 ton(船外機別) エンジン MERCURY Verado 300

最高出力 300 HP 燃料タンク 230 L

清水タンク 100 L 問い合わせ先 オカザキヨット

TEL: 西宮 0798-32-0202、横浜 045-770-0502

https://okazaki.yachts.co.jp





73